

研究の名称

当院におけるI-HDFの臨床効果

1. 研究の対象

主体会病院透析センターにて2019年2月から2019年7月の間にI-HDF（間歇補充型血液ろ過透析）を施行している患者20名

2. 研究目的・方法

腎不全患者は腎臓の機能が廃絶し自尿が出ないため、水分管理が必要になります。飲水した水分は、透析時に除水をおこなっていますが、時に血管内脱水となり血圧低下や筋痙攣をきたすことがあります。血圧低下や筋痙攣が頻発する患者は不十分な透析となりQOL（生活の質）の低下をきたす可能性があります。

先行研究においてI-HDF（※）は血圧低下、筋痙攣の予防に加え透析後倦怠感の軽減につながると報告されています。しかしI-HDFを導入してみると、透析時血圧低下や筋痙攣が改善する患者、思ったほど改善しない患者がいることが判明しました。効果が出やすい患者と出にくい患者の情報を解析することにより、今後の治療に生かしたいと考えています。

この研究では過去に行った検査結果を用いるのみで、研究の為に新たな検査は行わない研究です。倫理委員会の許可後、約半年を研究期間とします。

※I-HDF（Intermittent infusion Hemodiafiltration）：間歇補充型血液ろ過透析
通常の透析に加え一定間隔で補液と濾過を繰り返すことにより、通常透析で起こり得る血管内の脱水を軽減するとされています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報（性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、病名、透析歴）

透析中の血圧や脈拍等

採血結果（尿素窒素、クレアチニン、無機リン、カリウム、カルシウム等）

透析中の血圧低下に対する処置について（緊急補液、除水停止、透析中断等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒510-0832 三重県四日市市城北町 8-1

主体会病院透析室 臨床工学技士 前川 了一

TEL 059-354-1771

FAX 059-354-0755

研究責任者：主体会病院透析室 臨床工学技士 前川 了一